

11 週

第2回チーム発表

他のチームと指導方法を考えよう

今週の目標：

- ・ チームで考えた具体的な指導方法を他のチームに納得してもらえるように発表する。
- ・ 他のチームの発表内容から学べる部分を見つけ、検討する。

演習 (1) 各発表ブースの代表者で発表前の打ち合わせをしよう。

>>06-00-2 第6週目テーマのプリント裏面「今回の講義の流れ」参照

第6週目に行ったチーム発表と同じ要領で発表を進めていきます。効率よく発表したり、ディスカッションしたりするためのルールや司会やタイムキーパー役を決めておきましょう。
発表要領は06-00裏面「今回の講義の流れ」をよく読むこと

演習 (2) 本校の方針を他のチームに伝えよう

後半のチーム学習では、「多様な学習者一人ひとりの学力を高めるために」という共通テーマに対して、「国語、算数・数学の学力を向上させるための本校の方針」について具体的にどのように取り組むのかを考えてきました。その学習成果を他のチームに評価してもらったり、他のチームの考えを評価する中で、お互いに考えた学習指導法を検討しましょう。

注意!!

- ・ 聞きながら「評価シート」にコメントを記入します。評価シートは全てのチームの発表が済んでから一斉に交換します。
- ・ とにかく時間を守ること。タイムキーパーは忘れずに時間を知らせるようにしましょう。

宿題 (3) 発表の反省とチーム学習の評価 (冬休みの宿題)

>>11-01 チーム発表の評価2(チーム) 11-2 チーム学習の評価2(個人) 11-3 チームの機能不全診断・・・

他のチームからもらった評価シートを参考にして、チーム発表の評価をします。また、これまで一人ひとりのメンバーがどのようにチームの中で学習してきたのかを振り返って、最終段階の学習に活かしましょう。

11-1 チーム発表の評価2(チーム)

11-2 チーム学習の評価2(個人) 記入しておく

11-3 チームの機能不全診断テスト結果2(チーム) テストしておく

「07-2 チームの機能不全診断テスト」にそれぞれ再度取り組んで結果をまとめてください

次週提出

題 (4) 最終

レポートの構成 (冬休みの宿題) >>07-4 レポートの執筆 11-4 最終レポートの構成

最終レポートの提出締切はこの講義の最終日の 23:50 となっています。効率よく質の高いレポートを執筆するために、しっかりと構成を考えておきましょう(提出しながら修正しても構いません)。最終レポートは 10 枚以上書くことが求められますが、これまで 2 回執筆してきたショートレポートを修正して利用すれば、それほど苦になる枚数ではありません。これまでのショートレポートを修正して利用することによって、最終レポートの 1 章と 2 章を質の高い内容にすることができます。

また、どのようなレベルを目指して最終レポートを執筆するのも考えておきましょう。高得点を目指すならば高いレベルを設定して、そのレベルで決められている条件を満たしたレポートを書くことになります。それによってレポートの評価が決まります。

目標レベルと到達条件 ()内に示す点数は出席点が満点の場合のもです

レベル A' (目標 90 点台)	教科書やさまざまな文献や資料を参考にして、 <u>自分なりの考え方を論理的に展開して説得力がある</u> (上位 10 名程度)
レベル A (目標 80 点台)	教科書と配布資料とその他 2 冊以上の文献を参考にして説得力のある文章にする
レベル B (目標 70 点台)	教科書と配布資料(<u>ブックレットも含む</u>)を参考にしてレポートを作成する ブックレット…『学力低下』の実態と「習熟度別指導の何が問題か」を指す
レベル C (目標 60 点台)	出席は十分しているがレポート作成に時間をかけることはできないので とりあえず提出する

冬休み中に

11-4 最終レポートの構成 裏面

最終レポートの執筆をすすめておく

できたところまでをプリントアウトして次回持参してください

次回チェックリストを用いてレポートをお互いにチェックします。

今後のスケジュール

11 週目 **第 2 回チーム発表**…学団内でチームレポートを発表

提出したチームレポートを授業担当者の責任で印刷しますので、それを使って他のチームに発表してください

冬休み課題：

- ・チーム学習の評価 2 (チーム)
- ・チーム発表の評価 2 (個人)
- ・チームの機能不全診断テスト結果 2 (チーム)
- ・最終レポートの構成(目標レポートレベルの設定)
- ・できるだけレポート執筆を進める

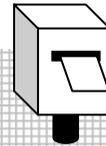
次週レポートをプリントアウトしてきてください

12 週目 冬休みに執筆したレポートを評価しあう(チェックリストを用いる)

13 週目 講義のまとめ レポートに関する質問受付 最終チェック

個人が提出 : A4 10 枚以上で最終レポート

チーム学習の評価 2(個人)



次週提出
シート

チーム番号() 氏名()

後半のチーム学習を振り返って、あなたの学習を評価してください。

A これまでのチーム学習で、メンバー間でお互いに連絡するためにどのような方法をとりましたか。

- 主として学習管理システムのチーム掲示板を利用した
- 主としてチームでつくったメーリングリストを使った
- 掲示板とメーリングリストとを併用した
- お互いに連絡先を交換して直接連絡をとりあった
- とくに連絡は取らなかった

★掲示板を使わなかった人に伺います。使用しなかった理由を教えてください。

()

B 連絡にはどのような機器(ケータイとパソコン)を使いましたか

- ケータイだけを利用した
- 主としてケータイを使い、一部はパソコンを利用した
- 主としてパソコンを利用し一部はケータイを利用した
- パソコンだけを使った
- その他、具体的には()

★パソコンを使用したと答えた人に伺います。主にどこで利用されましたか ()

C あなたのチーム学習の参加状況について教えてください。

●チーム学習で、あなたが担当したのはつぎのどの役割ですか。 ()

- ① 司会 ② 技術 ③ 記録整理 ④ 計画管理 ⑤ その他()

●あなたはその役割の担当者としてチームに貢献できましたか。

- 自分が担当した役割の意義を理解し、よく貢献できた
- 自分が担当した役割の意義は理解していたが、あまり貢献できなかった
- 自分が担当した役割の意義はあまり理解できなかったが、自分で判断してよく貢献した
- 自分が担当した役割の意義が理解できなかったため、あまり貢献できなかった
- 自分が担当した役割の意義が理解できなかったし、貢献するつもりもなかった

●チームの中で役割を担って学習してきたことを振り返って、不満に感じたこと、満足したこと、他のメンバーに感謝したいこと、謝罪したいことなど自由に記述してください。

裏もあります

D チームで考えたチーム学習の規範を常に意識することができましたか。次の表にチームで考えた規範を挙げて、自分はそれぞれの規範を守れたか守れなかったかをチェックしてください。

規範	きちんと守れた	まあまあ守れた	あまり守れなかった	全く守れなかった
例 掲示板に足跡を残す	✓			

E 限られた時間を有効に使って、チームでうまく学習計画を立てることができましたか。

() はい

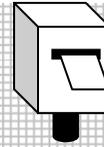
() いいえ (理由: _____)

F 「02-8 教育実践力を身につけよう」に示してある1～15の「私の教育実践力」の中で、どんな力がつきましたか。また、力をつけたいと思ったけれども未だ身につけていないと思う力は何ですか。それぞれの教育実践力を1～4段階で評価してください。また、今後できるようになりたいと思うものには✓を付けましょう。

	私の教育実践力	現在の状態	今後の課題としたいものに✓を付ける
1	何事でも最後まで達成しようとする		
2	何事にも積極的に取り組める		
3	他の人を理解するように努めている		
4	自分のことをできるだけ冷静に認識できる		
5	他の人を説得したり影響を与えるように努めている		
6	チームワークを尊重しチームのために貢献できる		
7	情報を収集することが得意である		
8	物事を分析的に考えることができる		
9	物事を概念的あるいは抽象的に考えられる		
10	自分をコントロールして冷静に振舞える		
11	何事にも自信をもって取り組める		
12	まわりの状況を冷静に認識することができる		
13	まわりの状況に適応することができる		
14	他人とコミュニケーションをとることが苦痛でない		
15	物事を計画的に進めることができる		

4 : とてもよくできるようになった 3 : まあまあできるようになった
 2 : あまりできていない 1 : 全くできていない
 (もともと「得意」なものには◎をつけましょう)

チームの機能不全 診断テスト結果 2(チーム)



次週提出
シート

チーム番号()

再度「07-02 チームの機能不全診断テスト」に取り組み、その結果を以下の表にまとめてください。

氏名を書いてください	「1 信頼の欠如」の点数	「2 衝突への恐怖」の点数	「3 責任感の不足」の点数	「4 説明責任の回避」の点数	「5 結果への無関心」の点数

1回目のテストから変化しましたか？

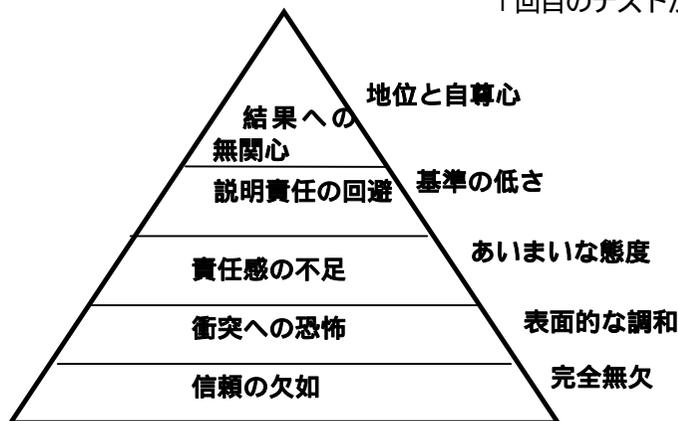


図1 チームの機能不全のモデル
P. トリック・レンシオーニ「あなたのチームは機能していますか」p.207 より

- 1 信頼の欠如 ...チーム内で弱みを見せないことから生じる。
- 2 衝突への恐怖...腹を割って激しく意見をたたかわせない。あいまいな議論や慎重な発言が多い。
- 3 責任感の不足...表面的に同意をするため、決定を支持し責任をもつことができない。
- 4 説明責任の回避...チームのためにならない行動や態度をとった仲間をとがめるのに躊躇する
- 5 結果への無関心...チーム全体の目標より個人のニーズや自分の部門のニーズを優先させる

(以上は「あなたのチームは、機能していますか?」より教材作成者がまとめたもの

8～9点...チームに機能不全は現れていないと考えられる。

6～7点...機能不全が問題になる可能性がある。

3～5点...機能不全に対処する必要があると考えられる。

このページは白紙です

最終レポートの構成

最終レポートを書くときに、以下の説明をよく読んで確認してください。

最終レポートの構成

最終レポートは左の図で示しているように、4章構成で執筆します。

最終レポートの構成

Microsoft Word にて
A4(1200字設定)10枚以上
(図表の挿入可)

表紙・目次¹

1章：チームで構想した学校

2章：多様な能力を持

4章：この講義の感想と希望

自己評価票・公開同意書²った学習者一人ひとりの学力を高めるための具体的な学習指導方法

3章：チーム学習と学習成果の評価について(かより選択)

第1章は、1回目のショートレポートを修正したものを利用するとよいでしょう。

第2章は、2回目のショートレポートを修正したものを利用するとよいでしょう。

第3章は、かを選択してください。

2章を踏まえて多様な学習者の学習成果をどのように評価するか(例：到達度評価を行う等)を考案する。
チーム学習の体験をいかして、チーム学習を評価するならどのようなするかを考案する。

第4章は、この講座の感想を書いてください。

1・2 最初に表紙と目次、最後に自己評価票と公開同意書を入れてください。これは枚数には含まれません。

2 **自己評価票と公開同意書**・
ず最後に付記してください。

11-00-2 参照

レポートが目指しているレベル(選択して不要なものを削除する) (A* A B C)

* * このレポートでアピールしたいポイント * *

* * レポートを次の視点で自己評価してください。(選択する) * *

参考文献・引用文献、参照 URL を示すことが〔できた ・ できなかった〕

(盗作ではなく、自分の主張を展開するときの根拠として使用し、誰の文章やデータを使用したかについて表記しているかどうか)

「感想」(「だと思ふ」調)ではなく「論理」(「である」調)で主張〔できた ・ できなかった〕

読み手が読みやすいように配慮することが〔できた ・ できなかった〕

(長すぎる文章を羅列するのではなく小見出しをつけたか、図や表の表示量は適切であったか など)

レポート公開同意書

このレポートを後輩が受講する「教育方法学」で公開してもよいですか。番号を選択してください。

後輩への公開について()

1. 実名入りで公開してもかまいません
2. 公開してもかまいませんが、匿名を希望します
3. 公開しては困ります

2005 年 月 日 氏名()

これまでの教育方法学で提出された最終レポートで「同意書」で「実名入りで公開してもかまいません」あるいは「公開してもかまいませんが、匿名を希望します」としたレポートです。参考にしてください。

最終レポートのメモ

最終レポートを書くためのメモを作っていきます。それぞれの章で、あなたはどのようなことを強調したいですか。

1 章

2 章

3 章

4 章

目標レベル (A* A B C) 11-00-2 参照。いずれか1つに をつける